

2012

1

No. 76

Miyakojima City
Public Relations 広報

みやこじま

謹賀新年

更なる飛躍へ!!

平成二十四年 辰年



今月の主な内容



宮古島市イメージキャラクター
「みーや」

15ページに掲載
の国旗です！



トンガ国旗



ツバル国旗



ニウエ国旗



ニュージーランド



バヌアツ国旗

- 新年のあいさつ ……P2
- 宮古島市の10大ニュース ……P5
- お知らせ(成人式日程) ……P11
- シリーズ認知症を知る(特集②認知症の症状) ……P14
- 太平洋・島サミット準備室からのお知らせ ……P15



新年 賀 謹



飛躍の龍年

市民と共に活力ある島づくり



宮古島市長 下地 敏彦

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様には、希望に輝く新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

また、旧年中は市政につきまして、あたたかいご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

なお、昨年3月11日に発生した東日本大震災により甚大な被害により、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、今なお不自由な生活を強いられている、被災地の一日も早い復興を心から願っております。

当市においては、市民の皆様のご協力をいただき、生まり島ミヤーク大会や、海族まつり等の各種イベントを開催することができました。それから、昨年10月には静岡県藤枝市と友好都市の締結をしたほか、各姉妹都市・友好都市・交流都市と経済及び物産や人的交流を積極的に推進してまいりました。また、日本政府

がTPP交渉参加表明して以来、市民の皆様が、宮古の農業を壊滅させ地域経済も崩壊すると不安を抱えていることと思いますが、昨年12月に開催されたTPP交渉参加阻止宮古地区農業者大会を始めとして、政府が交渉参加を断念することを訴え続けてまいります。

さて、新たに迎えました平成24年は、私が市政運営に携わって以来最終の4年目を迎えますので、市民の皆様にお約束した公約実現の集大成として、本市の未来のために時代にあつた各種施策を推進し、さらに、長期的な島づくりといたしまして「こころつなぐ結いの島宮古」の実現に向け、「環境共生」・「産業振興」・「教育文化」・「健康福祉」・「生活環境」・「住民自治」を基本目標に圏域全体の均衡ある発展に向け取り組んで参りますので、今後とも市民の皆様のご協力を賜りますよう心からお願ひ申し上げます。結びに、この一年が全ての市民の皆様にとりまして幸多い年となりますことを心からお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。

更なる議会の活性化、信頼され

期待される議会を



宮古島市議会議長 平良 隆

年も市民各位のお力添えをお願い申し上げます。次第でございます。

新年おめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は市議会に対し、深いご理解と温かいご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

私は、昨年十一月の第6回宮古島市議会臨時会において、はからずも市議会議長の要職に就かせていただきました。その責任の重さを改めて痛感するとともに、宮古島市のより一層の発展のために努めたいと想いを新たにしております。

さて、近年の社会経済情勢は、国際化、情報化、少子・高齢化が急速に進行しつつあります。この事は本市においても例外ではなく、さらに行政需要はその量・質ともますます複雑多様化しております。今こそ、市民と行政が一体となり、諸問題の解決を図ることが肝要であり、本

立宮古病院の新築移転に伴う工事着工をはじめ、宮古島海中公園のオープン、下里公設市場や宮古島市斎苑の供用開始など、本市の将来像と島づくりの基本目標でもある「こころつなぐ 結いの島 宮古」の実現に向け、着実に進展した年でありました。

本年は、これまでの成果を踏まえ、議員一同、市民の皆さま方の負託にお応えすべく、更なる議会の活性化に努め、信頼され期待される議会の構築のため、より一層、渾身の努力をいたす所存でございます。

結びにあたり、新しい年が市民の皆さまにとりまして、「飛躍の年」、「幸多き年」となることを祈念申し上げますとともに、市議会に対し相変わらぬご支援を賜りますようお願いいたします。

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|------|-----|------|----|------|----|------|----|------|----|-----|----|------|----|------|----|------|----|-----|----|-----|----|------|----|------|----|-------|----|------|----|------|----|------|----|------|----|------|----|-------|----|------|----|------|----|------|----|-----|----|-----|----|-----|
| 市長 | 平良 隆 | 副市長 | 富永元順 | 議員 | 高吉幸光 | 議員 | 仲間則人 | 議員 | 西里芳明 | 議員 | 下地明 | 議員 | 下地博盛 | 議員 | 長崎富夫 | 議員 | 前川尚誼 | 議員 | 上里樹 | 議員 | 嵩原弘 | 議員 | 棚原芳樹 | 議員 | 砂川明寛 | 議員 | 眞榮城徳彦 | 議員 | 新城元吉 | 議員 | 亀濱玲子 | 議員 | 前里光恵 | 議員 | 山里雅彦 | 議員 | 上地博通 | 議員 | 佐久本洋介 | 議員 | 新城啓世 | 議員 | 嘉手納学 | 議員 | 垣花健志 | 議員 | 池間豊 | 議員 | 下地智 | 議員 | 新里聡 |
|----|------|-----|------|----|------|----|------|----|------|----|-----|----|------|----|------|----|------|----|-----|----|-----|----|------|----|------|----|-------|----|------|----|------|----|------|----|------|----|------|----|-------|----|------|----|------|----|------|----|-----|----|-----|----|-----|

他職員一同
(一二月一日現在 877名)

①	藤枝市と友好都市を提携	10月23日、藤枝市と友好都市を提携し、今後両市間において文化やスポーツ、経済など幅広い分野で交流を推進することとなった。また、今回の友好都市提携では災害時相互支援協定の締結も行われた。
②	入域観光客数 40 万人突破、熱帯植物園花の王国オープン	入域観光客数はここ数年横ばいで推移してきたが、10年度に念願の40万人を達成した。また、9月15日には、今後の観光客誘致の目玉となることが期待される花の王国が、世界的な庭園デザイナーとして活躍する石原和幸氏による設計・施工により熱帯植物園内にオープンした。
③	新規航空路線の参入	9月15日スカイマーク社（那覇～宮古）路線就航。一日5往復10便運行開始。スカイマーク社の低価格設定により、他の2社も追随する形で料金の低減が図られ、利用者の利便性の向上に繋がった。
④	「生まれ島・ミャーク大会」の開催	宮古出身の郷友が集まる「生まれ島（づま）ミャーク大会」が11月に宮古島市内で開催され、県内外から約250人の宮古出身者が集まり、さまざまな催しを通して交流を深めた。
⑤	宮古島公設市場開設	旧下里公設市場跡地に宮古島市公設市場が完成。1階は野菜やお土産・特産加工品を販売する11店舗ほか、精肉、鮮魚販売が4店舗、2階には食堂・レストランが2店舗入居（1店舗準備中）。青空市には15軒を併設。中心市街地活性化・交流の場を担っている。
⑥	台風2号により農作物に甚大な被害	5月の台風としては、観測史上最大の瞬間最大風速50.4m/sを記録し、収穫途中の葉たばこや、さとうきび、マンゴー、野菜など農作物に約24億3千5百万円の被害をもたらした。
⑦	宮古島海中公園オープン	2011年4月5日、平良狩保で宮古島海中公園がオープンした。地上と階段で繋がる海中観察施設は海の中を散策しながら、海の中を泳ぐ様々な魚を見ることが出来る宮古島市の新しい観光地として、オープン当初から多くの市民、観光客が訪れている。
⑧	「宮古島市斎苑」供用開始	人の尊厳及び人生の終焉を演出するに相応しく、自然環境に配慮した公営の火葬場を整備することにより、市民の福祉と公衆衛生の向上を図ることを目的に建設が進められていた葬祭場が完成した。
⑨	子ども医療費助成事業の対象を小学校卒業まで拡大	入院に限り全額無料に（保険適用外のぞく）。
⑩	学校規模適正化に関する教育委員会の基本方針決定	市立小中学校の学校規模適正化を検討してきた宮古島市教育委員会は、6月9日に小学校及び幼稚園を含む市立小中学校の規模適正化についての基本方針を決定。8月には小学校の具体的な規模適正化方針も決定した。教育委員会では、この基本方針決定を受け、対象地区への説明会をスタートした。

それぞれのライフステージで豊かな学びを

宮古島市教育委員会 教育長 川満弘志

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、希望に満ち溢れた輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は本市教育行政に対し、格別なるご指導ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。昨年我が国は、三月十一日に発生した東日本大震災など未曾有の自然災害に見舞われる年となりました。ここに改めて被害に遭われた皆様方に対しお見舞いを申し上げます。一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。本市では被災された児童生徒を受け入れるとともに、被災された方々が元氣を取り戻せるよう平良第一小学校の全児童により三千羽の折鶴が制作されるなど各学校で取り組みがなされました。

ところで、昨年も本市児童・生徒による文化面・スポーツ面において多くの活躍がありました。北中学校野球部、平良中学校女子駅伝部九州大会出場、香村大貴君（久松中）の三千M県制覇・全国大会出場などはその一例でございます。

文化面では、「二〇一一年度私たちの文化財図画小学1・2年の部」で伊良部時将君（宮島小）が最優秀賞、「第2回いっしょに読もう！新聞コンクール中学校の部」で中曾根海夢君（西城中）が県NIE推進協議会長受賞等の輝かしい実績を示しました。これらの目覚ましい活躍は、子ども達一人ひとりの努力は勿論、学校・家庭・地域全体で日頃より熱心に取り組んだ成果であり、市の大きな誇りでもあります。

本年は、実に十二年ぶりに本市開催県立博物館・美術館移動展や県内スポーツの祭典であります県民体育大会が開催されますが、これらのイベントはいずれも多くの市民の皆様が夢と希望を与えるものだとして期待しております。

結びになりますが、本年も全ての市民の皆様にとりまして幸多き、飛躍の年となります。ことを祈念申し上げますとともに、教育委員会に対し更なるご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。新年の挨拶といたします。



平成23年12月4日付けで退任となった川上哲也氏の後任として、川満弘志氏が12月5日付けで第4代宮古島市教育長に就任しました。

川満弘志教育長 プロフィール

1951年（昭和26年）12月20日生 60歳 下地字上地出身
琉球大学保健体育科卒。卒業後、西城小、砂川中教諭などを経て平成15年に鏡原小学校校長、平成19年に砂川中学校校長。
平成23年12月1日付けで砂川中学校校長を退職。
平成23年12月5日に第4代宮古島市教育長に就任

うまんがい!がまんがい!

宮古島の話題

[The Topics]



～みんなで創ろう 緑豊かなみゃーく島～ 2011年度緑の育樹祭



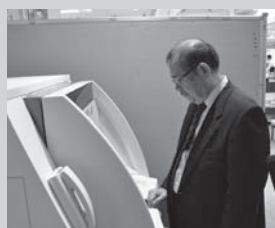
11月26日、うえのドイツ文化村で緑の育樹祭が開催されました。式典では学校環境緑化の部で来間小中学校を含む県内小中高校8校が表彰されました。また、緑化功労者の部で、美ぎ島宮古グリーンネットが会長賞を受賞しました。

式典終了後は、緑の少年団をはじめ関係者が、平成18年に開催された沖縄県植樹祭で同文化村に植樹された木に健やかに育つよう肥料を与えました。

証明書自動交付機が稼働

平良庁舎1階に設置されている各種証明書自動交付機の運用が12月1日より始まりました。

これまで窓口で発行していた住民票の写し、戸籍謄本・抄本、印鑑登録証明書、納税証明書などを暗証番号を登録した市民カードまたは住民基本台帳カードを使って自動で発行します。交付機の稼働で、市民の待ち時間が解消され、市民サービスの向上が期待されます。



不法投棄を許さない島づくり 不法投棄撲滅宣言

県内で不法投棄フーストワンの本市は、11月29日に「不法投棄撲滅宣言」を行いました。

不法投棄をなくすために、事業者、市民の自覚の必要性を訴えるとともに、各機関による市民協議会を設置することを発表しました。

また、不法投棄をした人の氏名を公表、業者の場合は、公共工事の発注を見合わせるなどして、不法投棄ゼロを目指します。



第24回南部忠平杯 グラウンドゴルフ宮古島大会



12月4日、第24回南部忠平杯グラウンドゴルフ宮古島大会が市陸上競技場で、県内外から446名が参加して行われました。

この大会は、競技を通して生涯スポーツの発展に寄与する目的で行われており、今年も参加者は真剣にプレーしながらもお互いに声援を送ったりと和気あいあいと親睦を深めながらコースを回っていました。

競技の結果、団体の部は丸栄ペイントAチーム(宮古島)、個人総合の部は上原マサ子さん(宮古島)、男女ペアの部は大澤光雄、薫さんペア(埼玉県)がそれぞれ優勝しました。

宮古島市とイオン琉球が特産品販売で提携

12月5日に、宮古島市とイオン琉球株式会社の「物産販売奨励協定締結調印式」が平良議長の立会いのもと行われました。

この協定により、今後、市の物産品をイオン琉球の多様な販売戦略・技術を活用して販売促進を図るため、協働した取り組みを行います。



2012

今年の主な話題

①	宮古島市与那覇湾がラムサール条約に認定へ	昨年11月1日付けで、これまで県指定であった池間島全域、与那覇湾周辺の鳥獣保護区が国指定の鳥獣保護区に指定された。また、与那覇湾水域部分が、特別保護区に指定され、その領域が本年5月にルーマニアで予定されているラムサール条約の締結国会議で決定される予定である。決定した場合、沖縄県内において5件目の登録となる。
②	宮古島産かんしょ産業の振興化へ	宮古島産かんしょ6次産業化基本方針により、プロジェクト推進委員会設置し、宮古島産かんしょの振興を図る。
③	第1次宮古島市水産振興基本計画の施行	平成23年度において検討・策定作業を進めてきた第1次宮古島市水産振興基本計画が施行され、今後10年間における宮古島市の水産振興は、当計画を基軸とし推進していくこととなる。
④	全国カツオ学会開催	2012カツオフォーラム in 宮古島市が、平成24年度に開催される。カツオに関する研究発表や基調講演、その土地のカツオ文化の継承・推進状況などについても語られる。
⑤	地域づくり協議会の活性化	前年の実績を踏まえて、各事業のグレードアップにより地域の益々の活性化を図る。
⑥	市史編さん事業「宮古島市史第1巻通史編」発刊及び「スマフツ辞典」下巻の発刊	合併後初の市史編さん事業の「宮古島市史第1巻通史編」が、いよいよ発刊の運びとなった。また、旧城辺町において、平成15年2月に発行された「城辺町スマフツ辞典」上巻に続き、この度城辺公民館において「下巻」を発刊する運びとなった。
⑦	九州市長会の宮古島市開催	平成24年10月18、19日の日程で、第111回九州市長会が宮古島市において開催される。九州118市の市長、各県の事務局、役所職員ら約300人が来島する予定。
⑧	第64回沖縄県民体育大会の先島開催	平成24年11月に第64回沖縄県民体育大会が先島地区で開催される。宮古島市では、陸上、サッカー、テニス、ウェイトリフティング、ハンドボール、軟式野球、剣道、ラグビーフットボール、ゴルフの9競技が行われる。
⑨	高校生太平洋・島サミット開催	大洋州諸国との関係を密にし、経済活動の向上を連携して進めることを目的として開催され、当該諸国の高校生各2名、日本国32名、合計64名の高校生が「環境」をテーマに会議を開き、各国首脳へ提言する。
⑩	来間島再生可能エネルギー100%自活実証事業本格化へ	当事業は、来間島に太陽光等の自然エネルギーを大量に導入し、自然エネルギー100%自活を目指す過程においての、経済的・技術的・制度的課題を抽出し、今後の国内外における地産地消型の自然エネルギー普及拡大及びその利用のモデルを構築することを目的としたものであり、H23年度のシステム設計を受け、H24年度から本格的に始動することとなる。